

とても紙でできているとは思えない重厚感と光沢。本物と見誤るほどの甲冑を作成しているのは、古川地域高倉地区で「甲冑工房大崎塾」を主宰する佐藤悦壽さんです。子どもの頃から歴史が大好きだったという佐藤さん。あちこちの城や刀、甲冑などを訪ね歴史への造詣を深める中、紙を材料に作る甲冑の存在を知り、白石市の工房へ三年間通い甲冑作りの技法を学びました。その魅力にどんどん引き込まれていった佐藤さんは、「甲冑づくりの楽しさや魅力を多くの人に広めたい。」と昨年六月に自宅敷地内に「甲冑工房大崎塾」を開校。六月から三月まで延べ二十回開かれる塾には、現在二期生約二十人が受講しています。受講生の年齢は二十代から八十代と幅広く、市内各地域はもとより県内各地から佐藤さんのもとを訪れています。「材料を集めたりするのは大変ですが、皆さん熱心に通ってくるので励みになります。歴史が好きだから物づくりが好きだから、思いが共通しているから楽しいですね。」と語る佐藤さん。

九月に岩出山地域で行われた政宗公まつりでは、受講生とともに手作り甲冑を身にまとい武者行列に参加。本物と間違つほどの出来栄で見る人を驚かせ、戦国武将さながらに練り歩きました。「自慢の作品を見てもらうのがうれしい。」甲冑作りの工程はとても細かく手間が掛かる作業。完成したときの喜びと達成感最高。「と目を輝かせて語る佐藤さんと受講生の皆さん。甲冑工房大崎塾第二期は来年も六月から開校の予定です。」



三本木地域発

【ひまわり油】
ひまわりから生まれた無添加の食用油
ビタミンEが豊富に含まれています
ドレッシングやマリネにお勧めです



このコーナーでは、誰かにすすめたくなる伝統工芸や物産など、大崎市自慢の逸品を毎月一品ずつ紹介していきます。

自作の甲冑を
身にまとう
現代の戦国武将

かっちゅう

甲冑工房 大崎塾
塾長 佐藤悦壽さん(古川)



問い合わせ
甲冑工房 大崎塾
TEL・FAX 52-3650



①



② 大崎塾

▲佐藤さんがこれまでに作成したみごとに甲冑の数々① 月に2回開講される大崎塾②



生の種を搾り、精製されたひまわり油はきれいな黄色。1kgの種から採れる油の量は、わずか20g程度で、何度も精油作業を繰り返して、皆さんの食卓に届きます。

夏の三本木地域を黄色に染めるヒマワリの花。齊田地区の「ひまわりの丘」には、毎年、四十二万本のヒマワリが咲き誇り、多くの観光客でにぎわいます。まさに、三本木地域のシンボルの花です。
夏の間、私たちの目を楽しませてくれるヒマワリですが、咲き終わってからも、私たちに豊かな恵みをもたらしてくれます。たくさん取れる種を使った、三本木地域の特産品「ひまわり油」に生まれ変わります。
ひまわり油は、ヒマワリの種を搾って抽出した食用油です。ヨーロッパではとてもポピュラーで、美食の国フランスでもいろいろなた料理に用いられています。人間の体の中では一切つかられない、天然の「ビタミンE」を豊富に含んでいるので、



三本木農産加工センターで搾油を担当する早坂さん(左)と、ヒマワリナッツの選別作業を担当する鈴木さん(右)。これから本格的に忙しい時期を迎えます。

コレステロール値の低下、生活習慣病の予防、細胞の活性化などへの効果が期待されます。さらには、血液の循環を良くし、老化防止にも力を発揮してくれると言われています。
ひまわりの丘や栽培農家で無農薬で育てられた今年のヒマワリからは、約四・七トンの種が収穫されました。
現在、三本木農産加工センターでは、ヒマワリ生産者でつくる加工組合の人たちが、すべての工程にしっかりと目を配りながら、精油作業やケーキなどのお菓子に使われるヒマワリナッツの選別作業に追われる日々を送っています。
夏の太陽の光をたっぷり浴び、大きく育ったヒマワリからの贈り物。皆さんの食卓にもいかがですか。

三本木道の駅やまなみ」などで販売
●ピン入り170g：525円(税込)
●カン入り550g：1,575円(税込)
※この他、贈答用に複数本が入った化粧箱入りもあります。
◎ 三本木総合支所産業振興課 ☎52-5836